

(仮称)長野市民文化芸術会館 芸術監督内定等について



新会館大ホール

目 次

1 芸術監督内定等について

1 芸術監督内定について

選定要件

視点1 音楽を中心として幅広いジャンルに対応できる人

新会館のホール特性に合う音楽を中心に、企画制作面において十分な実績と経験を有していること

視点2 あらゆる世代を対象として事業展開できる人

子どもから大人までを対象とした、自主事業の企画・展開が期待できる人物であること

視点3 「長野らしさ」を演出できる人

長野に対する理解が深く、何らかの縁があり、「長野らしい」事業構築や創造の実現が期待できる人物であること

視点4 強い発信力を有する人

内外に向けて広く、本市の文化芸術事業のPRが期待できる人物であること

久石 譲 氏

- ひさいし じょう 本名：藤澤 守
- 1950年12月6日生 62歳



芸術監督内定者

- 作曲家（クラシック音楽・映画音楽・現代音楽）・編曲家・指揮者・ピアニスト
- 国立音楽大学招聘教授、新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ初代音楽監督(2004年就任)
- 中野市出身、須坂高校～国立音楽大学作曲科卒業
- 国立音楽大学在学中より、現代音楽の作曲家として出発、宮崎駿監督作品など数々の映画音楽を手掛け、国内外で高く評価されている
- 1998年、長野パラリンピック冬季競技大会では総合演出 を手掛ける
- 日本アカデミー賞最優秀音楽賞を計7回、1997年度芸術選奨新人賞（大衆芸能部門）を受賞。2009年には紫綬褒章を受章

主な活動実績

- 1981年から多数のソロアルバムを発表、作曲だけでなく指揮・演奏・プロデュースをも手掛け、ジャンルにとらわれない独自スタイルを確立
- 1984年、映画「風の谷のナウシカ」以降「となりのトトロ」など宮崎駿監督の音楽を担当、北野武監督「HANA-BI」、滝田洋二郎監督「おくりびと」など数々の映画音楽を手掛け、2001年には自らも「Quartet(カルテット)」で映画監督デビュー
- 1998年、長野パラリンピック冬季競技大会テーマソング「旅立ちの時 ～Asian Dream Song～」を作曲
- 2008年、宮崎駿監督作品のみのコンサート「久石譲in武道館～宮崎アニメと共に歩んだ25年間～」を開催、管弦楽と混声合唱・児童合唱、吹奏楽、マーチングバンドを含む総勢1200名の大規模編成を指揮・ピアノで共演。
- 2009年から指揮者としても本格活動を開始、「久石譲クラシックス・シリーズ」では、積極的にクラシック音楽を取り上げたコンサートを開催
- 2010年アジア・オーケストラツアーでは10都市16公演を敢行
- 2011年、東京ニューシティ管弦楽団を率い東日本大震災支援チャリティコンサートを開催。
- 近年は本名の「藤澤守」名義による作品も発表し、幅広く活動中

(仮称)長野市民文化芸術会館運営体制等検討委員会における

芸術監督選定の経過

- 第1回検討委員会（4月12日）
芸術監督の選定要件として四つの視点を確認
- 第2回検討委員会（4月19日）
久石氏を芸術監督候補者として選出（満場一致）
- 要請（5月8日）
久石氏へ芸術監督就任の要請に伺う ⇒ 久石氏から快諾をいただく
- 第3回検討委員会（5月17日）
就任要請の結果を報告し、委員会として久石氏を芸術監督に選定

<要請時にいただいた言葉>

- 芸術的な良いものを創るには時間も経費もかかる。一体感を持って同じ方向へ進めるような組織体制を整備して欲しい。
- 定期的な自主事業を行い、貸館事業も積極的に入れて、会館の稼働率を高めることが大切。
- 世の中に認められて事業が軌道に乗るまでに3年にかかる。道のりの長い馬拉ソンのような事業である。

(参考) その他主要ポストの人選

館長	おおはし せいいち 大橋 聖一氏 (現 佐久穂町出身) ・ 信濃毎日新聞社事業局長 ・ 長野県写真連盟会長 ・ 公益財団法人信毎文化事業財団評議員
副館長 (育成担当)	やまかみ たかし 山上 貴司氏 (長野市出身) ・ 東京都立総合芸術高等学校音楽科講師 ・ 長野県小諸高等学校音楽科講師 ・ 日本ファゴット(バスーン)協会理事
副館長 (事業担当)	人選について現在調整中